

理 科

高等学校新教育課程(理科)の編成について ——公立商業高等学校について——

原 英 俊

【抄録】平成6年度から実施の高等学校学習指導要領にもとづく、公立商業高等学校（16校）の理科の教育課程編成について調査を行った。その結果は次の通りであった。①全教科・科目の総履修単位数は90～99。②2科目履修（主に、物理IA、化学IA、生物IAより）と3科目履修（主に、物理IA、化学IA、生物IA）が多かった。③理科の科目の総履修単位数は、概ね、4～6であった。

【キーワード】新教育課程、理科、公立商業高等学校、履修科目、履修単位数

1. 調査のねらい

平成6年度から実施の高等学校学習指導要領において、理科の科目の履修については、次のように定められている。

(1) すべての生徒が履修すべき理科の科目数については、「総合理科」、「物理IA」又は「物理IB」、「化学IA」又は「化学IB」、「生物IA」又は「生物IB」、「地学IA」又は「地学IB」の5区分から2区分にわたって2科目とする。

(2) 「物理II」、「化学II」、「生物II」、「地学II」の各科目については、原則として、それぞれに対応するIBを付した科目を履修した後に履修させるものとする。

そこで、公立商業高等学校における理科の教育課程編成について調査を行った。

2. 総履修単位数と理科の履修科目・科目数と単位数

総履修単位数（ホームルーム活動、クラブ活動を除く）と理科の履修科目・科目数と単位数は次の通りである。

表1 総履修単位数

総履修単位数	90	93	96	99	不明
学校数	5	5	4	1	1

表2-1 履修科目・科目数と単位数

履修科目数	2		2		2		2	
学校数	1		1		1		1	
履修科目名 ()は単位数	物理 I A (2)	化学 I A (2)	化学 I A (2)	生物 I A (2)	物理 I A (2)	生物 I A (2)	物理 I A (2)	化学 I A (3)
合計単位数	4		4		4		5	

2		2		2		3		3	
1		1		1		4		1	
物理 I A (2)	化学 I A (2)	生物 I A (2)	物理 I A (2)	化学 I A (2)	生物 I A (2)	総合理科 (4)	物理 I A (2)	化学 I A (2)	生物 I A (2)
2科目選択 必修			1科目選択 必修			1科目選択 必修		2科目選択 必修	
4		4		6		6		7	

3		3		2～3		2～3		
1		1		1		1		
物理 I A (3)	化学 I A (2)	生物 I A (2)	物理 I A (2)	化学 I A (2)	生物 I A (2)	物理 I B (3)	化学 I B (3)	生物 I B (3)
1科目選択 必修			1科目選択 必修			2科目選択 必修		選択
7		6		5・8		4・7		

(備考) 小学科を多数持つ学校の場合、商業科について調べた。また、商業科が無い場合、商業科に最も近い小学科を参考にした。

表2-2 履修科目数と学校数

履修科目数	2	3	2~3
学校数	7	7	2

表2-3 履修単位数と学校数

履修単位数	4	5	6	7	4・7	5・8
学校数	5	1	6	2	1	1

3. 理科の科目編成

理科の科目の履修については、2科目履修、3科目履修の学校が多い。また、学校によっては、科目の学年配当に特色がある。表3～表5に、いろいろなタイプの編成例を示す。

表3-1 化学ⅠA・生物ⅠA履修

教科	科目	標準単位数	学年			計	
			1	2	3		
理科	化学ⅠA	2			2	2	4
	生物ⅠA	2		2		2	

表3-2 物理ⅠA・化学ⅠA履修

教科	科目	標準単位数	学年			計	
			1	2	3		
理科	物理ⅠA	2			2	2	5
	化学ⅠA	2		3		3	

表3-3 生物ⅠAと物理ⅠA、化学ⅠAより1科目選択必修履修

教科	科目	標準単位数	学年			計	
			1	2	3		
理科	物理ⅠA	2		<input type="checkbox"/> 2		0・2	4
	化学ⅠA	2		<input type="checkbox"/> 2		0・2	
	生物ⅠA	2	2			2	

印より1科目選択必修

表3-4 総合理科と物理ⅠA、化学ⅠA、生物ⅠAより1科目選択必修履修

教科	科目	標準単位数	学年			計	
			1	2	3		
理科	総合理科	4	2	2		4	6
	物理ⅠA	2			<input type="checkbox"/> 2	0・2	
	化学ⅠA	2			<input type="checkbox"/> 2	0・2	
	生物ⅠA	2			<input type="checkbox"/> 2	0・2	

印より1科目選択必修

表4-1 物理ⅠA・化学ⅠA・生物ⅠA履修

教科	科目	標準単位数	学年			計	
			1	2	3		
理科	物理ⅠA	2			2	2	6
	化学ⅠA	2		2		2	
	生物ⅠA	2	2			2	

表4-2 化学ⅠA・生物ⅠBと化学ⅠB選択履修

教科	科目	標準単位数	学年			計	
			1	2	3		
理科	化学ⅠA	2		2		2	5・8
	化学ⅠB	4			<input type="checkbox"/> 3	0・3	
	生物ⅠB	4	3			3	

○印；選択

表4-3 化学ⅠA・生物ⅠAと物理ⅠA、地学ⅠAより1科目選択必修履修

教科	科目	標準単位数	学年			計	
			1	2	3		
理科	化学ⅠA	2	2			2	6
	生物ⅠA	2		2		2	
	物理ⅠA	2			<input type="checkbox"/> 2	0・2	
	地学ⅠA	2			<input type="checkbox"/> 2	0・2	

印より、1科目選択必修

表5 物理ⅠA・化学ⅠA・生物ⅠAより2科目選択必修、物理ⅠB・化学ⅠB・生物ⅠBより1科目選択履修

教科	科目	標準単位数	学年			計	
			1	2	3		
理科	物理ⅠA	2	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2		0・2	4・7
	化学ⅠA	2	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2		0・2	
	生物ⅠA	2	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2		0・2	
	物理ⅠB	3			<input type="checkbox"/> 3	0・3	
	化学ⅠB	3			<input type="checkbox"/> 3	0・3	
	生物ⅠB	3			<input type="checkbox"/> 3	0・3	

○印；1科目選択。印より各学年1科目選択必修。ただし、1年、2年で同じ科目は履修できない。

4. 考察

商業高等学校においては、概ね、理科の履修科目数2～3、履修単位数は4～6と比重は小さいが、他の普通教科・科目や専門教科・科目との関係を勘案すると妥当であると考えられる。また、学校によっては、理科の選択科目数や履修単位数を増加させたりして、生徒の興味・関心や進路に対応しているところも有り評価できる。

5. おわりに

本調査をまとめるに当って、ご協力いただいた本校理科教室の鈴木一悠教諭、高須明教諭、楨本直子教諭、増岡亜紀教諭および浅井裕子実習助手の皆様方に深謝いたします。

〈参考資料〉

下記に示す商業高等学校の教育課程表を参考にしました。

1. 岐阜県立岐阜商業高等学校
2. 北海道立札幌商業高等学校
3. 石川県立金沢商業高等学校
4. 岡山県立岡山東商業高等学校
5. 香川県立高松商業高等学校
6. 岩手県立盛岡商業高等学校
7. 長野県立長野商業高等学校
8. 富山県立富山商業高等学校
9. 山梨県立第一商業高等学校
10. 秋田市立秋田商業高等学校
11. 滋賀県立大津商業高等学校
12. 奈良県立奈良商業高等学校
13. 山口県立防府商業高等学校
14. 青森県立青森商業高等学校
15. 熊本県立熊本商業高等学校
16. 宮崎県立宮崎商業高等学校